

今日の寺ともさん 美術家 まんき 萬木 じゅんいち 淳一さん



今日の寺ともさんは、萬木淳一さんです。萬木さんは、長らく高松一高の美術の先生として勤められ、退職後も香川県的美術界をけん引して今日に至っておられます。当寺にいられた方なら、ご覧になったかもしれませんが庫裡の1階に、萬木先生の作品がご門徒さん経由で寄贈されています。作品名は「春の光新薬師寺」です。この度、この絵が寄贈されて以来久しぶりにお会いしてお話を聞かせて頂きました。萬木さんは、終戦後香川県下に東西の学区制があった頃に一高で学ばれました。高校生の頃は、意外にも理科部に所属し植物採集や昆虫採集のかたわら、油絵を描いていたそうです。と言っても戦後の焼け野原で、枝を拾ってキャンバスを作り描いていたのでした。何も無い所から工夫して描いた体験がその後の創作活動に活かされたと言っておられました。

萬木さんと言えば、現地での作品制作等で有名です。そこは特にこだわられた部分で、撮影した写真を見て描くのではなく、あくまで現場で描くのを大事にされました。冒頭の「新薬師寺」もそうですが、奈良には本当によく通われたようです。萬木さんが、奈良に魅了されたのは、古代・飛鳥時代の歴史がお好きで、その頃の文化のルーツである台湾や中国にも10回ほど行かれたのがキッカケでした。その雰囲気は今に残している法隆寺や正倉院などに赴き、特に「正倉院展」には学生時代から毎年のように通ったのだとか。ちょうど作家・井上靖の「シルクロード紀行」が流行った時期でもありました。それらの活躍が認められ、香川県の文化功労者にも選ばれたのでした。

それもこれも現在の今橋付近にあった実家を戦火で焼け出されたのにも関わらず、支援して大学まで出してくれた二人のお姉様や大学の後輩として大学に入学して来た奥様が長年支えてくれたおかげだとあらためて感謝に堪えないご様子でした。萬木さんの絵は、何年経っても見飽きません。ぜひ皆さんも当寺でご覧ください。

* * * * * * * * * * **ご自慢のペットちゃん** * * * * * * * * * *



名前：なすな
性別：♀
お年：6歳
種類：ラブラドル
好物：ビスケット・ジャーキー
住所：稲毛さん宅(高松市)
性格：人懐っこい
苦手：透けてる階段

ご自慢のペットちゃん
募集中だにゃん!

エピソード：近所の方からの情報で、島根県の盲導犬訓練所からやって来たのが「なすな」こと、なっちゃんです。盲導犬の訓練をしても実際になれるのは僅かだそうです。なっちゃんも、波長が合う人の方へ被介助者を徐々に引っ張ってしまう傾向があり不合格になったのだとか。でもお買い物に行くと、スーパーの前で30分でもステイできます。初対面時、お腹を見せて喜びを爆発させ稲毛さんのハートをぶち抜いたのですが、いざ飼い始めると、誰にでも愛想がいい子でした。可愛いね♡

* * * * * * * * * * **総代さん便り** : * * * * * * * * * *

突然の災害に無力感を感じる今日この頃ですが、まずは自分ができる準備をしませんか。災害備蓄品としてはまずお勧めは5年保存水です。量は1日1人当たり3ℓ×3日分が目安です。次に非常食ですが7年保存のレトルトご飯ですが賞味期限切れ前に食べるローリングストックを実行したいです。防災ヘルメットは折り畳み式だと場所を取らずに保管できます。他にも携帯電話・懐中電灯やラジオ、日常使用しているメガネや薬、マスクなど考え出せばキリがありません。最近は水に強い・中身がこぼれないという理由で100均のボトルに細々したものを入れる「防災ボトル」が話題です。我が家でも作ってみようかと思っています。

